

# 一期一会

いちご

いちえ

皆さまにとって、当寺正面玄関の額でもお馴染みの「一期一会」という言葉。

この言葉は、茶道の祖である千利休の弟子・山上宗二が『山上宗二記』の「一期に一度」という記述に由来し、「毎回の茶会を一生に一度の機会ととらえ、誠意を尽くすべきである」という、茶道における心構えを示したものです。そもそも「二期」とは、仏教用語であり、「人が生まれてから死ぬまでの間」を、また「一会」とは、「法要などの集まり」を意味し、仏教にも関わりの深い言葉です。

私たちはともすると、「日常的な人付き合い」をおろそかにしがちです。例えば、恋人であった時には、お互いを大切にしていたのに、いざ夫婦になつたら、とたんに付き合い方がぞんざいになる。初めて会った時は、お互いに気を使っていたのに、良く会うようになつたら、気遣いが減る。そんなことありませんか？  
しかし、仏教では、この世界の全て

の物事は、「無常」（移り変わっていく）であるにとらえます。さつき会えたからといって、「条件」（時間・場所・人の寿命など）がひとたび変化すれば、次にまた会える保障などないのです。だからこそ、「日常」における人と人との付き合いを大切に行うことが大切なのではないでしょうか。

また、「一期一会」を「その場限りの出会い」と、否定的にとらえる方がおりますが、それは大きな間違いです。その出会いが「その場限り」かどうかは、到底予測がつきませんし、「その場限りだ」と思うからこそ、自らの人生を豊かにしてくれるかもしれない「出逢い」を、単なる「すれ違い」にしてしまうのです。

どうぞ、これを機会に、皆さんの身の回りの人との付き合いを今一度見つめ直してみても如何ですか？人間関係を大切にすることこそ、あなた自身の人生を大切に生きることにつながるのです。



坂本素雪・書（庫裡正面玄関）

## 各種講座「春彼岸 写経会・茶話会」のお知らせ

- 日時…平成二十二年三月二十日（土）午後一時～三時半
- 場所…大安寺中広間にて ○定員…二十名（要事前予約）
- ※詳しくは、事務所前チラシ、ホームページ、携帯サイトをご覧ください。なお、定員を超えた場合、同日午前九時～十一時半までの予定で追加開催する場合がございます。

## 各種講座「春彼岸 坐禅会・茶話会」のお知らせ

- 日時…平成二十二年三月二十日（土）午後四時半～六時
- 場所…大安寺大広間にて ○参加自由（事前予約不要）
- 集合時間…午後四時二十分 ○集合場所…庫裡正面玄関
- 服装…足の組みやすい服装でお越しください。

## 行事カレンダー（平成二十二年三月～五月）

- 三月十五日 午前十一時～ 涅槃会（本堂）  
お釈迦さまの入滅「涅槃」にちなみ、その遺徳を追慕し、報恩感謝する法要です。恒例の「団子まき」も行います。

- 三月二十一日 午前十一時～ 春彼岸会（本堂）  
ご先祖さまに感謝し、自らの心を見つめ直す機会である「彼岸」その中に行う法要です。

- 五月八日 午前十一時～ 降誕会法要（本堂）  
お釈迦さまの誕生「降誕」をお祝いする法要を行います。また、本堂前ではお釈迦さまの像に甘茶をかけていただきます。

- ※同日、『チャリティー寄席』（主催：大安寺保勝会 後援：大安寺）を開催予定です。詳しくは、ポスター、チラシ、当寺ホームページ、携帯サイトなどをご覧下さい。

## 編集後記

今年の冬は、例年になく雪が多く、また、寒い日が多かったですね。当寺でも、ポイラーが凍結し、修理を頼むという事態になった日もありました。  
また、境内の雪かきをしてくださった皆さま、いつも本堂に有難うございます。春ももうすぐそこ。桜の咲くのが待ち遠しい今日この頃です。  
〈編集担当・長岡俊成〉

## 次号のご案内

第四号は平成二十二年五月四日に発行予定です。